

7 施設種別ごとの方向性

(1) 施設の分類

- 設置目的やサービス内容等から、対象施設を以下の施設種別に分類しています。
- 各分類では、基本方針で定めた全体方針に則り、施設種別ごとの方向性を定めています。

【施設種別ごとの分類表】

施設白書での分類	基本計画での分類	対象の施設単位	ページ
行政系施設	①行政施設	本庁舎、市民センター、サービスコーナー	32
	②事務所施設	収集事業課事務所、大久保駅前区画整理事務所、公園管理事務所	34
	③消防施設	明石市消防本部、明石市防災センター、明石市消防署、消防署分署、消防団詰所	36
	④その他行政施設	倉庫	38
市民文化系施設	⑤コミュニティ施設	小学校区コミュニティ・センター、中学校区コミュニティ・センター	40
	⑥集会・文化施設	市民会館、市民ホール、西部市民会館、中崎公会堂	42
	⑦生涯学習施設	生涯学習センター、生涯学習センター分室、高齢者大学校あかねが丘学園、男女共同参画センター	44
社会教育系施設	⑧博物館等	文化博物館、天文科学館	46
	⑨図書館	市立図書館、西部図書館	48
保健・福祉施設	⑩保健施設	保健センター	50
	⑪障害福祉施設	木の根学園(ひまわり工房・たんぼぼ工房)、発達支援センター	52
	⑫高齢福祉施設	高齢者ふれあいの里、シルバー人材センター	54
	⑬児童福祉施設	医療型児童発達支援センター「ゆりかご園」、児童発達支援センター「あおぞら園」、児童発達支援事業施設「きらきら」	56
	⑭その他社会福祉施設	総合福祉センター、ふれあいプラザあかし西、厚生館	58
医療施設	⑮医療施設	夜間休日応急診療所、休日歯科急病センター兼障害者等歯科診療所	60
子育て支援施設	⑯保育所・幼稚園	保育所、幼稚園	62
	⑰児童施設	放課後児童クラブ	64
学校教育系施設	⑱学校	小学校、中学校、明石商業高等学校、明石養護学校	66
	⑲その他教育施設	教育研究所	68
産業系施設	⑳産業系施設	産業交流センター、勤労福祉会館、中高年齢労働者福祉センター(サンライフ明石)、卸売市場	70
スポーツ・レクリエーション系施設	㉑スポーツ施設	大蔵海岸施設、明石中央体育会館(石ヶ谷公園)	72
	㉒レクリエーション施設・観光施設	花と緑の学習園(上ヶ池公園)、菊花栽培場、少年自然の家	74
公園	㉓公園	公園(金ヶ崎公園、魚住北公園、明石海浜公園)	76
公営住宅	㉔市営住宅	市営住宅	78
供給処理施設	㉕供給処理施設	明石クリーンセンター、浄化センター、ポンプ場	80
その他施設	㉖その他	あかし斎場旅立ちの丘、明石駅前立体駐車場、明石駅自転車駐車場、石ヶ谷墓園	82
上水道施設	㉗上水道施設	浄水場、配水場、水道サービスセンター	84

(2) 施設種別ごとの方向性

施設概要や配置状況、現状や課題を整理した上で、取組の方向性を記載しています。

「**取組の方向性**」については、原則として、施設種別ごとに「**共通の方向性**」を記載しています。

より具体的な検討の進め方が必要と考えられる施設については、「**共通の方向性**」に加えて、「**個別の方向性**」として、該当する施設単位名をあげて記載しています。（下記「**取組の方向性**」の記載例（行政施設）参照）

【記載内容】

項目	記載内容
■施設概要	施設単位ごとの業務内容や施設数を記載しています。
■配置状況	施設の配置状況を地図に表記しています。
■現状と課題	施設の配置状況や建物の改修・更新状況、利用・運営状況について、現状や課題を記載しています。
■取組の方向性	公共施設配置適正化に取り組むための今後の方向性を記載しています。

「**取組の方向性**」の記載例（行政施設）

■取組の方向性

共通の方向性

- 行政施設のあり方を検討した上で、基本方針にかかげる原則に基づき、公共施設配置適正化に向けた取組手法を検討する。

個別の方向性

【本庁舎】

- 市民センターをはじめとする他の施設と機能分担、連携を図る中で、更新のあり方を検討する。

【市民センター・サービスコーナー】

- 地域支援や窓口機能といった市民サービスを実施するにあたり、地域バランスや歴史的な経緯にも配慮しながら、複合化、集約化も含めて検討する。

行政系施設

①行政施設

■施設概要

対象施設単位	業務内容	設置数
本庁舎	各種窓口・相談業務のほか、様々な行政サービスを提供しています。	1 施設
市民センター	戸籍及び住民登録に係る諸届の受付や各種証明書の交付及び市税、国民健康保険等にかかる受付などの窓口業務のほか、センター内会議室の貸館業務を行っています。	3 施設
サービスコーナー	戸籍及び住民登録に係る諸届の受付や各種証明書の作成並びに交付等の窓口業務を行っています。	5 施設

■配置状況



■現状と課題

(1) 配置状況

- ・本庁舎は、市の防災拠点に位置付けられるが、近年大規模災害に対する危機管理拠点の整備などの必要性が高まっている。
- ・市民センターやサービスコーナーは、地域住民の身近な行政窓口として各地域に設置されている。

(2) 改修・更新状況

- ・本庁舎や市民センターは、建築後 30 年から 40 年経過し、劣化が進んでおり、一部施設で改修が必要になっている。
- ・本庁舎の新庁舎建設には多額の費用が必要であると試算され、基金の計画的な積立が必要である。
- ・二見市民センターは、建築後 70 年を経過しているが、平成 25 年度に施設改修を実施している。

(3) 利用・運営状況

- ・本庁舎の課室配置に狭隘化が見受けられ、適正な課室レイアウト等により、狭隘化の解消が必要である。また、長期保存年限の書類増加により、書庫の保管スペースがひっ迫している。
- ・市民センターについては、会議室や和室の稼働率が低く、施設全体が有効に活用されているとは言えない。
- ・江井島を除くサービスコーナーは、民間施設の賃借により設置している。

■取組の方向性

共通の方向性

- ・行政施設のあり方を検討した上で、基本方針にかかげる原則に基づき、公共施設配置適正化に向けた取組手法を検討する。

個別の方向性

【本庁舎】

- ・市民センターをはじめとする他の施設と機能分担、連携を図る中で、更新のあり方を検討する。

【市民センター・サービスコーナー】

- ・地域支援や窓口機能といった市民サービスを実施するにあたり、地域バランスや歴史的な経緯にも配慮しながら、複合化、集約化も含めて検討する。

行政系施設

②事務所施設

■施設概要

対象施設単位	業務内容	設置数
収集事業課事務所	一般家庭から出されるごみの収集及び分別の指導・啓発のほか、不法投棄防止の啓発活動、パトロール、犬ねこの小動物の死体処理等の業務を行っています。	1 施設
大久保駅前区画整理事務所	大久保駅前土地区画整理事業（JR 大久保駅北部の 35.2ha の区域）の施行に伴う事務を行っています。	1 施設
公園管理事務所	約 420 カ所の公園の施設安全点検及び施設修繕等の現場拠点として設置されています。	1 施設

■配置状況



■現状と課題

(1) 配置状況

- ・収集事業課事務所は、大久保北部に設置されており、近隣に明石クリーンセンターが設置されている。
- ・大久保駅前区画整理事務所は、大久保駅前土地区画整理事業の事務所として設置されており、近隣に大久保市民センターが設置されている。
- ・公園管理事務所は、市内約 420 ヲ所ある公園や緑地の維持管理業務の拠点として位置づけられている。

(2) 改修・更新状況

- ・収集事業課事務所は、平成 12 年に建築された建物であるが、劣化が進んでいる。
- ・大久保駅前区画整理事務所は、建築後 10 年、公園管理事務所は、建築後 20 年を経過しているが、建物は良好である。

(3) 利用・運営状況

- ・特定の事業を実施するために設置されており、広く市民に利用される施設ではない。

■取組の方向性

共通の方向性

- ・事務所施設のあり方を検討した上で、基本方針にかかげる原則に基づき、公共施設配置適正化に向けた取組手法を検討する。

個別の方向性

【収集事業課事務所】

- ・部内での機能分担の整理を踏まえ、施設の集約化を検討する。

【大久保駅前区画整理事務所】

- ・事業の進捗状況を踏まえ、施設の廃止を含めて検討する。

【公園管理事務所】

- ・施設の適正な維持管理、計画的な改修を行い、長寿命化を図る。

③消防施設

■施設概要

対象施設単位	業務内容	設置数
明石市消防本部・明石市防災センター・明石市消防署	市域における火災、風水害、震災その他の災害による被害を軽減し、人命の救急救助を行う警防活動・業務を担う拠点となっています。また、消防庁舎には、防災学習の拠点である防災センターを併設しています。	1 施設
消防署分署		6 施設
消防団詰所	消火活動のほか、地震や風水害等の大規模災害時においても、救助・救出・避難誘導等の活動を行っています。	48 施設

■配置状況



※消防団詰所は、地図には掲載していません。

■現状と課題

(1) 配置状況

- ・市内に、各種災害に対応する拠点として分散して設置されている。
- ・非常時での地域防災活動の拠点を担っている。

(2) 改修・更新状況

- ・明石消防本部（明石市防災センター・明石市消防署）は、平成 15 年に建築されており、建物は良好である。消防分署や消防団詰所は、建築後 30 年から 40 年を経過し、劣化が進んでおり、一部施設で改修が必要になっている。
- ・明石市防災センターは開設以来、展示設備の更新がされていない。

(3) 利用・運営状況

- ・明石市防災センターには、年間約 9,000 人が来館している。

■取組の方向性

共通の方向性

- ・長期的な視野に立って施設の整備、補修計画を策定し、施設の長寿命化を図る。

個別の方向性

【明石市消防本部、明石市消防署、消防分署、消防団詰所】

- ・施設の配置上、機能集約になじまないため、地域の安全面を考慮し、長寿命化を図る。消防団詰所にあっては、上記内容に加えて地域単位での配置を基本とする。

【明石市防災センター】

- ・市民への防災に関する知識等の普及活動に対し、明石市防災センターが果たす役割について検討する。

④その他行政施設

■施設概要

対象施設単位	業務内容	設置数
倉庫	水防機材や工事用資材、災害発生時の必要物資（備蓄倉庫）などを保管しています。 なお、防災用備蓄倉庫は、朝霧公園を含め7カ所の地域防災公園に整備されています。	7施設

■配置状況



■現状と課題

(1) 配置状況

- ・ 行政文書やイベント用品を収納している多目的倉庫や、防災資機材を収納している防災用備蓄倉庫が設置されている。
- ・ 防災用備蓄倉庫は、朝霧公園を含め7カ所の地域防災公園に整備されている。

(2) 改修・更新状況

- ・ 建築後 20 年から 30 年を経過している施設が多く、劣化が進んでおり、一部施設で改修が必要になっている。

(3) 利用・運営状況

- ・ 倉庫は、行政文書や防災備品の保管、イベント用品の収納といった用途に利用されているが、長期にわたり収納され続けているものもある。

■取組の方向性

共通の方向性

- ・ 利用実態を踏まえ、廃止、集約化を行い、不用な施設については売却処分も含めて検討する。特に、水防資材など地域防災に必要な資材を保管する倉庫については、地域に分散して設置することを基本とし、他施設の余剰スペースを活用することで代替できる場合には、建物の廃止、売却処分も含めて有効活用を検討する。

⑤コミュニティ施設

■施設概要

対象施設単位	業務内容	設置数
小学校区コミュニティ・センター	地域活動、行政情報の提供、スポーツや文化的活動を行っています。	28 施設
中学校区コミュニティ・センター	各種学習講座、サークル活動、交流行事などを行っています。	16 施設

■配置状況

※小学校区コミュニティ・センター及び中学校区コミュニティ・センターは、そのほとんどが小学校、中学校に併設されているため、地図は掲載していません。学校の配置状況（66 ページ）をご参照ください。

■現状と課題

(1) 配置状況

- ・小学校及び中学校施設の一部を利用したものと、学校敷地内または敷地外の個別施設として設置されているものがある。
- ・小学校コミセンは「まちづくりの拠点」、中学校区コミセンは「生涯学習の拠点」として、地域住民に身近な施設として設置されている。
- ・小学校区コミセン、中学校区コミセンは避難施設に指定されている。

(2) 改修・更新状況

- ・各コミセンの中には、建築後 20 年から 30 年を経過している施設が多く、劣化が進んでおり、一部施設で改修が必要になっている。

(3) 利用・運営状況

- ・各コミセンは、地域の様々な会議に利用されているほか、小学校区コミセンについてはスポーツクラブ 21 のクラブハウスの役割も担っている。
- ・一部の貸館スペースの稼働率が低い。
- ・中学校区コミセンは、高齢者大学など地域住民に学習機会を提供するとともに、登録サークル等を中心に自主的な文化、スポーツ活動の場として利用されている。

■取組の方向性

共通の方向性

- ・地域主体の運営を進める方向で検討する。
- ・利用実態を踏まえ、施設の有効活用の手法を検討する。
- ・小中学校の規模適正化により学校の統廃合が実施される場合には、学校敷地内のコミセンについては施設の集約化を検討する。
- ・大規模な改修が必要となる場合には、小中学校の規模適正化の状況を踏まえ、その必要性を精査する。

個別の方向性

【小学校区コミセン】

- ・「まちづくりの拠点」と位置づけ、地域主体の運営を進める方向で検討する。

【中学校区コミセン】

- ・利用促進を図りながら、利用実態等を踏まえ、複合化も含めて検討する。
- ・効果的、効率的な施設運営が図られるよう、管理運営体制の見直しについて検討する。

市民文化系施設

⑥集会・文化施設

■施設概要

対象施設単位	業務内容	設置数
市民会館	自主事業（音楽、演劇、舞踊等）や貸館業務を行っています。 1,280名収容の大ホール、450名収容の中ホール等を備えています。	1施設
市民ホール	230名収容のホールを備え、講演会、各種大会の場を提供しています。	1施設
西部市民会館	494名収容のホールと防音の練習室を備え、自主事業（音楽、演劇、舞踊等）や貸館業務を行っています。西部図書館との複合施設です。	1施設
中崎公会堂	講演会などの自主事業や、集会や催し等に利用されています。 2012年（平成24年）2月には明石市で3件目の国登録有形文化財に登録されました。	1施設

■配置状況



■現状と課題

(1) 配置状況

- ・設置目的の違いはあるが、特に明石駅周辺は、貸館機能を持つ施設が複数設置されている。ホールや貸館機能がどれだけ必要であるか検討が必要である。
- ・市民ホールが避難施設に指定されている。

(2) 改修・更新状況

- ・市民会館は、建築後 40 年、市民ホールは、建築後 60 年、中崎公会堂は、建築後 100 年を経過しており、建物の劣化が進んでいる。
- ・明石駅前再開発や本庁舎のあり方の議論と連動した検討も行う必要がある。

(3) 利用・運営状況

- ・一部の貸館スペースの稼働率が低い。

■取組の方向性

共通の方向性

- ・施設の必要性、建物の劣化状況、利用実態等を踏まえ、廃止や複合化、集約化を進める方向で検討する。

⑦生涯学習施設

■施設概要

対象施設単位	業務内容	設置数
生涯学習センター	293名収容のホールや120名収容の学習室など学習の場の提供、各種講座等による学習機会の提供や学習情報の提供を行っています。 また、市立図書館内に生涯学習センター分室を設けており、自主的な文化、スポーツ活動の場となる貸館業務を行っています。	1施設
生涯学習センター分室		1施設
高齢者大学校あかねが丘学園	高齢者の教養の向上、生きがいの創造、地域社会活動の指導者養成を行う大学校で、3年制の本校と2年制の分校があります。	2施設
男女共同参画センター	女性のための相談業務、情報提供、各種講座の開催のほか、図書の出借、会議室の貸館業務を行っています。 また、あかし消費生活センターを設置しており、商品・サービスの苦情、悪質商法などによるトラブルの相談業務を行っています。	1施設

■配置状況



■現状と課題

(1) 配置状況

- ・生涯学習センター及び男女共同参画センターは、明石駅近くに建築されたアスパア明石内に設置されており、利便性が高い。
- ・生涯学習センター分室は、市立図書館内に設置されているが、図書館機能の明石駅前再開発ビルへの移転に伴い、既存の建物のあり方について検討が必要である。
- ・高齢者大学校あかねが丘学園本校については、平成 26 年度から順次生涯学習センターに移転している。
- ・あかねが丘学園分校は、市西部にあるみなと記念ホール及びふれあいプラザあかし西で開校されている。
- ・高齢者大学校あかねが丘学園本校の体育館が避難施設に指定されている。
- ・生涯学習センターが津波一時避難ビルに指定されている。

(2) 改修・更新状況

- ・アスパア明石は、平成 13 年に建築された建物であるが、大規模な改修が予定されており、当建物内に設置されている生涯学習センター及び男女共同参画センターについても、併せて改修を実施する必要がある。
- ・あかねが丘学園本校は、建築後 40 年を経過し、劣化が進んでおり、改修が必要となっている。
- ・あかねが丘学園分校が設置されているみなと記念ホールは平成 12 年、ふれあいプラザあかし西は平成 21 年に建築されており、建物は良好である。

(3) 利用・運営状況

- ・生涯学習センターの一部の貸館スペースで稼働率が低い。
- ・高齢者大学校あかねが丘学園は近年入学者が定員割れを起こしていたが、学習拠点の移転で利便性が大幅に向上したこと等により、定員割れは解消された。あかねが丘学園分校の定員割れは解消されておらず、コースや定員の変更を進めている。
- ・あかねが丘学園分校を開校しているみなと記念ホールは、賃借により使用している。

■取組の方向性

共通の方向性

- ・生涯学習全体のあり方を検討する中で、施設の必要性、建物の劣化状況、他施設の取組状況等を踏まえ、規模の適正化や周辺施設との複合化、民間活力の活用を検討する。

個別の方向性

【高齢者大学校あかねが丘学園】

- ・本校移転後の現建物は廃止する方向で検討する。

【生涯学習センター分室】

- ・市立図書館の建物の方向性を踏まえ、あり方を検討する。

⑧博物館等

■施設概要

対象施設単位	業務内容	設置数
文化博物館	歴史、民俗等に関する資料の収集・展示のほか、文化遺産の保存と継承並びに芸術・文化の振興を行っています。	1 施設
天文科学館	天文学や自然科学に関する知識の普及、文化の向上を図るため、1960年（昭和35年）6月10日の時の記念日に開館しました。	1 施設

■配置状況



■現状と課題

(1) 配置状況

- ・文化博物館は、市の歴史や文化、魅力を発信する施設として設置されている。
- ・天文科学館は、市民の選ぶ「あかしのたからもの」の第1位に選ばれている。

(2) 改修・更新状況

- ・文化博物館は、建築後 23 年が経過し、劣化が進んでおり、改修が必要になっている。
- ・天文科学館は、開館後 54 年、震災後のリニューアルからでも 16 年が経過しており、改修の必要箇所が増えている。

(3) 利用・運営状況

- ・文化博物館は、指定管理者制度の導入で、開館日の増などにより利用者サービスが向上した一方、学芸部門の調査・研究体制の継続性に問題がある。
- ・天文科学館は、平成 22 年度の展示コーナー等の一新後、入館者数は順調に推移している。

■取組の方向性

共通の方向性

- ・長期的な視野に立って施設の整備、改修計画を策定し、施設の長寿命化を図る。
- ・利用実態等を検証した上で、効果的、効率的な管理運営手法の導入を検討する。

個別の方向性

【文化博物館】

- ・利用実態等を検証した上で、施設の有効活用を検討するほか、管理運営体制の見直しについても検討する。

【天文科学館】

- ・長期的な視野に立って施設の整備、補修計画を策定し、施設の長寿命化を図る。

⑨図書館

■施設概要

対象施設単位	業務内容	設置数
市立図書館	図書、記録その他必要な資料の収集、提供のほか、それに関連する事業を行っています。	1 施設
西部図書館		1 施設

■配置状況



■現状と課題

(1) 配置状況

- ・市立図書館として、明石公園内に設置しており、県立図書館が隣接している。
- ・平成 28 年 12 月に、明石駅前再開発ビル内に、(仮称)市民図書館として移転する予定である。
- ・市立図書館には、移動図書館基地や書庫の他、生涯学習センター分室も併設している。
- ・西部図書館は、西部市民会館内に複合施設として設置しており、1 階に開架エリア、2 階には読書室のほか、貸室としての会議室や研修室がある。

(2) 改修・更新状況

- ・市立図書館は、建築後 40 年を経過し、劣化が進んでおり、耐震改修も未実施である。
- ・西部図書館を設置している西部市民会館は、平成 11 年に建築したものであり、建物は良好である。

(3) 利用・運営状況

- ・市立図書館の明石駅前への移転後の建物の活用方法について、早急に結論が求められる。
- ・西部図書館については、市立図書館と同等程度の利用状況となっているが、貸室の稼働率としては低い。

■取組の方向性

共通の方向性

- ・図書館のあり方を検討した上で、基本方針にかかげる原則に基づき、公共施設配置適正化に向けた取組手法を検討する。

個別の方向性

【市立図書館】

- ・建物の劣化が激しく、耐震改修等に多額の費用がかかることから、移動図書館基地や書庫の確保について整理した上で、建物を廃止することも含めて建物の活用方法を検討する。

【西部図書館】

- ・利用促進を図りながら、施設の利用実態などを踏まえ、施設の有効活用を図る。

⑩保健施設

■施設概要

対象施設単位	業務内容	設置数
保健センター	健康診査や健康相談などの保健サービスを実施するとともに、市民の自主的な保健活動の場を提供しています。	1 施設

■配置状況



■現状と課題

(1) 配置状況

- ・地域保健の拠点として配置されている。
- ・今後明石駅前南地区再開発事業に伴い、再開発ビルへの一部業務移転が発生する。
- ・津波一時避難ビルに指定されている。

(2) 改修・更新状況

- ・建築後 30 年を経過し、劣化が進んでいる。

(3) 利用・運営状況

- ・複数の部署の課室が配置されている。
- ・健康診断等で、市民の利用が多いが、駐車場が少ない。

■取組の方向性

■共通の方向性

- ・明石駅前南地区再開発事業に伴い、一部業務が移転するため、空きスペースの活用方法を検討する。

①障害福祉施設

■施設概要

対象施設単位	業務内容	設置数
木の根学園（ひまわり工房・たんぼぼ工房）	18歳以上の知的障害者を対象とした通所施設で、生活支援・作業指導を行ったり、ケーキ・クッキー、さをり織・むすび織などの手工芸品、陶芸品などの製造販売や各種下請作業を行っています。	1施設
発達支援センター	発達障害をはじめ支援を必要とする方とご家族への継続した、相談支援・発達支援・就労支援及び啓発活動と研修等を行っています。	1施設

■配置状況



■現状と課題

(1) 配置状況

- ・木の根学園は、知的障害者通所施設として設置されており、就学前肢体不自由児の通園療育施設である医療型児童発達支援センター「ゆりかご園」が隣接している。
- ・発達支援センターは、市西部にあるふれあいプラザあかし西内に設置されている。

(2) 改修・更新状況

- ・木の根学園は、建築後 40 年が経過し、建物の劣化が進んでいる。
- ・発達支援センターが設置されているふれあいプラザあかし西は、平成 21 年に建築されており、建物は良好である。

(3) 利用・運営状況

- ・木の根学園については、定員増を行い、現在若干の欠員がでているが、更なる経費の節減や利用者の受け入れ増により、収支改善を進めている。
- ・発達支援センターは、市民ニーズや啓発等により、開設当初から利用者は増加傾向にある。

■取組の方向性

共通の方向性

- ・効果的、効率的な施設運営が図られるよう、民間活力の活用を含めた運営体制の見直しを検討する。

個別の方向性

【木の根学園(ひまわり工房・たんぼぼ工房)】

- ・長期的な視野に立って施設の整備、補修計画を策定し、施設の長寿命化を図る。

【発達支援センター】

- ・相談業務等の充実に向け、運営体制の見直しの方向で検討する。

⑫ 高齢福祉施設

■ 施設概要

対象施設単位	業務内容	設置数
高齢者ふれあいの里	高齢者の心身の健康増進、レクリエーション及び教養の向上のための場を総合的に提供しています。	4 施設
シルバー人材センター	高齢者の登録会員に適した臨時的、短期的な仕事を提供しています。	1 施設

■ 配置状況



■現状と課題

(1) 配置状況

- ・高齢者ふれあいの里は、市内4か所に配置されているが、規模・立地の点から利用圏域の重複は見られない。
- ・シルバー人材センターは、高齢者の就労支援施設として設置されているが、交通の利便性が高い。

(2) 改修・更新状況

- ・高齢者ふれあいの里は、大久保を除く3館（中崎・魚住・二見）の建物や設備が劣化しており、築40年以上経過している施設もあることから、一部施設で改修が必要になっている。
- ・シルバー人材センターは、建築後30年を経過し、建物の劣化が進んでいる。年次的に応急修繕を実施し、短期的ではあるが一定の延命化を図っている。

(3) 利用・運営状況

- ・高齢者ふれあいの里は、全館合計での利用者数は増加しているが、利用者が固定化している。
- ・シルバー人材センターは、会員数が年々増加しており、意欲や能力を持つ高齢者の就労ニーズは高い。

■取組の方向性

共通の方向性

- ・高齢福祉施設のあり方を検討した上で、基本方針にかかげる原則に基づき、公共施設配置適正化に向けた取組手法を検討する。

個別の方向性

【ふれあいの里】

- ・施設の劣化状況や利用実態等だけでなく、高齢者施策全体の再構築や他施設の有効活用を踏まえ、廃止又は転用等を含めて検討する。

【シルバー人材センター】

- ・施設の劣化状況や交通の利便性、他施設の有効活用取組状況により、移転も含めて検討する。

⑬児童福祉施設

■施設概要

対象施設単位	業務内容	設置数
医療型児童発達支援センター「ゆりかご園」	就学前の肢体不自由児が通園する医療型児童発達支援センターで、理学療法・作業療法・言語聴覚療法・保育・生活指導・相談支援などの療育支援を行っています。	1 施設
児童発達支援センター「あおぞら園」、児童発達支援事業施設「きらきら」	就学前の知的障害児を対象とした児童発達支援センターと児童発達支援事業の通所施設で、「あおぞら園」は、通園バスにより児童単独で通園し、作業療法士や臨床心理士、保育士等による療育を行っています。 「きらきら」は、保護者同伴により、児童、家族、職員が一緒になって発達を促し、主体性や自主性を身につける療育を行っています。	1 施設

■配置状況



■現状と課題

(1) 配置状況

- ・医療型児童発達支援センター「ゆりかご園」は、就学前肢体不自由児の通園療育施設として、近隣市町からの利用もされている。
- ・児童発達支援センター「あおぞら園」、児童発達支援事業施設「きらきら」は、市西部にあるふれあいプラザあかし西内に設置されている。

(2) 改修・更新状況

- ・医療型児童発達支援センター「ゆりかご園」は、建築後 40 年が経過し劣化はあるが、平成 24 年度に耐震工事を行っている。
- ・児童発達支援センター「あおぞら園」、児童発達支援事業施設「きらきら」が設置されているふれあいプラザあかし西は、平成 21 年に建築されており、建物は良好である。

(3) 利用・運営状況

- ・医療型児童発達支援センター「ゆりかご園」、児童発達支援センター「あおぞら園」、児童発達支援事業施設「きらきら」の利用者数は一定で推移している。

■取組の方向性

共通の方向性

- ・児童福祉施設のあり方を検討した上で、基本方針にかかげる原則に基づき、公共施設配置適正化に向けた取組手法を検討する。

個別の方向性

【医療型児童発達支援センター「ゆりかご園」】

- ・長期的な視野に立って施設の整備、補修計画を策定し、施設の長寿命化を図る。

【児童発達支援センター「あおぞら園」、児童発達支援事業施設「きらきら」】

- ・指定管理者と協議しながら、事業の充実を検討する。

⑭その他社会福祉施設

■施設概要

対象施設単位	業務内容	設置数
総合福祉センター	市民の福祉・保健の向上と地域福祉活動の増進に寄与する事業を行っており、日常生活訓練室、技能習得室、ボランティア活動室、温水プールなどを備えています。また、社会福祉協議会の事務所、地域包括支援センターが入っています。	1 施設
ふれあいプラザあかし西	市民の健康及び福祉の増進や子育て支援、地域福祉活動の推進に寄与する場を提供しています。	1 施設
厚生館	相談業務や人権課題の解決のための各種事業を総合的に行っていきます。	7 施設

■配置状況



■現状と課題

(1) 配置状況

- ・総合福祉センターは、福祉ニーズの多様化への対応のため、地域包括支援センターや総合相談窓口を設置している。
- ・ふれあいプラザあかし西は、市民の健康づくりや福祉の拠点として、新設されている。
- ・ふれあいプラザあかし西が津波一時避難ビル、厚生館が避難施設に指定されている。

(2) 改修・更新状況

- ・総合福祉センターは、建築後 20 年を経過し、劣化が進んでいる。
- ・ふれあいプラザあかし西は、平成 21 年に建築されており、建物は良好である。
- ・厚生館は、古い施設では建築後 50 年、全体でも 35 年以上経過しており、建物の劣化が進んでいる。

(3) 利用・運営状況

- ・総合福祉センターは、利用者数は概ね横ばいであるが、一部の貸館スペースで稼働率が低い。
- ・ふれあいプラザあかし西は、利用者数や貸館スペースの稼働率は上昇傾向にある。
- ・厚生館は、利用者数は概ね横ばいであるが、和室や調理室の貸館スペースの稼働率は低い。

■取組の方向性

共通の方向性

- ・施設の必要性や建物の劣化状況、利用実態等を踏まえ、集約化も含めた有効活用を検討する。

個別の方向性

【総合福祉センター・ふれあいプラザあかし西】

- ・地域福祉の拠点として、より効果的、効率的な運営が図られる場合には、集約化も含めた有効活用を検討する。

【厚生館】

- ・将来的な人権教育、人権啓発の推進体制を検討する中であり方を検討する。

⑮医療施設

■施設概要

対象施設単位	業務内容	設置数
夜間休日応急診療所	内科と小児科があり、夜間及び休日における急病患者に対し、応急的な治療を行っています。	1 施設
休日歯科急病センター兼障害者等歯科診療所	総合福祉センター内に設置されており、休日における応急の歯科診療並びに障害者、障害児及び寝たきり高齢者の歯科診療並びに歯科相談を行っています。	1 施設

■配置状況



■現状と課題

(1) 配置状況

- ・夜間休日応急診療所は、明石市医師会との区分所有建物内に設置されている。
- ・休日歯科急病センター兼障害者等歯科診療所については、総合福祉センター内に設置されている。

(2) 改修・更新状況

- ・夜間休日応急診療所は、平成 15 年に建築された建物であるが、365 日ほぼ 24 時間稼働という状況から、施設、設備の両面で劣化が進んでいる。
- ・休日歯科急病センター兼障害者等歯科診療所が設置されている総合福祉センターは、建築後 20 年を経過し、施設の劣化が進んでいる。

(3) 利用・運営状況

- ・夜間休日応急診療所については、小児科の医師の確保が困難なため深夜帯の診療が行われていない。
- ・休日歯科急病センターについては、利用者数は減少傾向にある。障害者等歯科診療所については、利用者数は一定程度で推移しているが、立地上、障害者等の利便性が高いとは言えない。

■取組の方向性

共通の方向性

- ・関係団体（医師会・歯科医師会）との連携を進めていながら、適切な維持管理を進める。

個別の方向性

【夜間休日応急診療所】

- ・長期的な視野に立って施設の整備、補修計画を策定し、施設の長寿命化を図る。

【休日歯科急病センター兼障害者等歯科診療所】

- ・利便性向上のため、他施設への移転も含めて検討する。

子育て支援施設

⑯保育所・幼稚園

■施設概要

対象施設単位	業務内容	設置数
保育所	保護者が仕事や病気などの事情で、昼間に家庭で保育ができない就学前までの乳幼児を、保護者に代わって保育する児童福祉施設です。	12 施設
幼稚園	小学校入学前までの幼児に対し、その心身の発達を助長することを目的とした教育を行う、学校教育法を根拠法令とする施設です。 平成 24 年 11 月から貴崎・藤江・高丘東幼稚園において、余裕教室を活用して、民間の保育所分園を開園しています。	28 施設

■配置状況



※幼稚園は、小学校に隣接しているため、地図には掲載していません。学校施設の配置状況（66 ページ）をご参照ください。

■現状と課題

(1) 配置状況

- ・ 保育所は市内各所に計 12 施設が配置されている。
- ・ 幼稚園は小学校区ごとに計 28 施設が配置され、すべてが小学校に隣接している。

(2) 改修・更新状況

- ・ 劣化が進んでおり、一部施設で改修が必要になっている。
- ・ 保育所は既に耐震化が完了しており、幼稚園は平成 26 年度完了の予定である。

(3) 利用・運営状況

- ・ 保育所については、入所希望者が年々増え、待機児童が発生しており、対策が急務である。
- ・ 幼稚園については、入所希望者が年々減り、余裕教室が数多く生じてきており、施設の有効活用を図る必要がある。

■取組の方向性

■共通の方向性

- ・ 学識経験者、関係団体、公募市民等からなる「明石市子ども・子育て会議」等で意見を聴きながら、ニーズ調査結果等を踏まえ、保育所や幼稚園の今後のあり方を検討する。

(明石市子ども・子育て会議の検討内容)

- ・ 保育所については、当面の間、保育所として継続することとしている。
- ・ 幼稚園については、一つの中学校区で、一つの幼稚園を認定こども園に移行していくこととしている。認定こども園では、保育所入所待機児童対策を行い、3歳児保育を導入するとともに、在宅で育児されている家庭の子育て支援を充実し、在園児の預かり保育を実施することとしている。

⑰児童施設

■施設概要

対象施設単位	業務内容	設置数
放課後児童クラブ	保護者が就業等により昼間家庭にいない市内の小学校低学年児童等を対象に、授業の終了後に適切な遊び及び生活の場を提供しています。	28 施設

■配置状況

※放課後児童クラブは、小学校の校舎内または敷地内に併設されているため、地図は掲載していません。学校施設の配置状況(66 ページ)をご参照ください。

■現状と課題

(1) 配置状況

- 小学校の一室や小学校敷地内に建築されたプレハブで運営している。
- 小中学校においては規模適正化についての検討を進めており、その状況を踏まえた対応が必要となる。

(2) 改修・更新状況

- 施設の多くが校舎内に設置されており、改修・更新は学校の改修計画によるが、一部校舎は劣化が進んでいる。
- プレハブは築年数の経過していない施設が多く、建物は良好である。

(3) 利用・運営状況

- 運営は明石放課後児童クラブ運営委員会及び花園学童運営委員会に委託している。
- 利用者は増加しており、新たな施設確保など環境改善に向けた取組みが課題となっている。
- 児童福祉法の改正に伴い、対象が全学年に広がり、今後利用者の増加が予想される。

■取組の方向性

共通の方向性

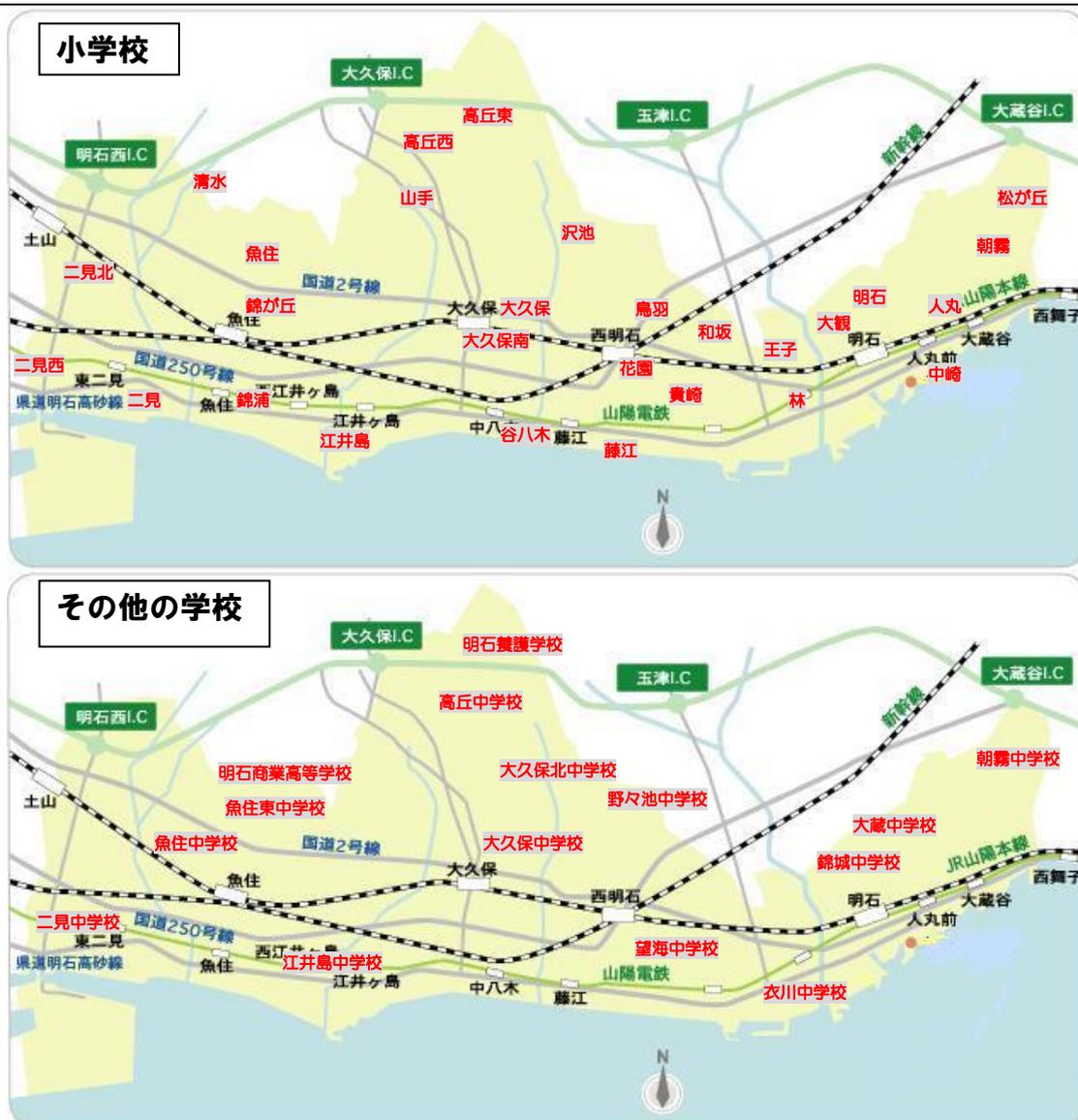
- 今後の利用者増加に対応するため、学校施設の活用等による施設整備を検討する。
- より効果的で質の高い保育を提供できるよう、運営方法や施設のあり方について検討する。

⑱学校

■施設概要

対象施設単位	業務内容	設置数
小学校	心身の発達に応じて、義務教育として行われる普通教育のうち基礎的な教育を実施しています。	28 施設
中学校	小学校における基礎的な教育の上に、心身の発達に応じて義務教育として行われる普通教育を実施しています。	13 施設
明石商業高等学校	各学年に国際会計科1クラスと商業科7クラスを置く市立商業科の学校です。	1 施設
明石養護学校	肢体不自由者又は重度重複者に対して、自立活動を中心に教育を実施し、障害による学習上または生活上の困難を克服し自立を図るために必要な知能技能の習得を目指しています。	1 施設

■配置状況



■現状と課題

(1) 配置状況

- ・小学校 28 校、中学校 13 校を設置している。
- ・児童生徒数の推移から、小規模校の増加が見込まれる。
- ・明石商業高等学校は、東播磨地区唯一の商業科のある市立高等学校として設置している。
- ・明石養護学校は、市唯一の肢体不自由児のための特別支援学校として設置している。
- ・避難施設として指定している。

(2) 改修・更新状況

- ・施設や設備の劣化が進んでいる。多くの学校で耐震改修を実施しているが、非構造部材の耐震化への早期対応が課題となっている。

(3) 利用・運営状況

- ・今後も市全体の児童生徒数は減少し、余裕教室の発生が見込まれる一方で、一部の学校においては児童生徒数の増加が見込まれている。
- ・良好な教育環境を確保していくため、学校規模の適正化に取り組む必要がある。
- ・児童生徒数の減少により発生する余裕教室については、少人数学習など多様な学習形態に対応するための教室として使用している。

■取組の方向性

共通の方向性

- ・今後の児童生徒数の推移等を踏まえながら、良好な教育環境の整備が図られることを前提として統廃合や通学区域の見直しなどの規模の適正化を検討するとともに、余裕教室等についても、他の施設との複合化等による有効活用を検討する。

⑱その他教育系施設

■施設概要

対象施設単位	業務内容	設置数
教育研究所	明石市の教育上の課題について調査研究を行うとともに、学校教育の今日的課題、教職員の研修ニーズに応じた講座を企画・開催しています。	1 施設

■配置状況

※教育研究所は、中崎小学校の校舎内に併設されているため、地図は掲載していません。 学校施設の配置状況（66 ページ）をご参照ください。

■現状と課題

(1) 配置状況

- ・中崎小学校内の余裕教室を活用して設置している。

(2) 改修・更新状況

- ・改修、更新は中崎小学校の計画によるが、中崎小学校は建築後 30 年を経過し、劣化が進んでいる。

(3) 利用・運営状況

- ・学校の余裕教室を使用しているが、研修参加者数が多いために、研修の約 3 割では近隣施設を使用して実施している。

■取組の方向性

共通の方向性

- ・より効果的、効率的な施設運営のために、他の既存施設の有効活用を検討するなかで、移転も含め、施設設備の充実を検討する。

⑩産業系施設

■施設概要

対象施設単位	業務内容	設置数
産業交流センター	産業交流、人材育成、産業経済情報の収集・提供、経営相談及び技術相談を行うことのほか、展示会、催物、研修、諸会合等を行うための場を提供しています。	1 施設
勤労福祉会館	勤労市民及びその団体の諸会合や研修、教養及び文化の向上、スポーツ及びレクリエーションの場を提供しています。	1 施設
中高年齢労働者福祉センター（サンライフ明石）	中高年齢労働者等の諸会合や研修、教養及び文化の向上、スポーツ及びレクリエーションの場を提供しています。	1 施設
卸売市場	生鮮食料品の取引の適正化とその流通の円滑化など、地場の新鮮な魚・野菜等を消費者に供給する流通拠点たる役割を果たしています。	1 施設

■配置状況



■現状と課題

(1) 配置状況

- ・産業交流センター、勤労福祉会館、サンライフ明石については、それぞれ産業振興、勤労者や中高年齢労働者の福利厚生を目的に設置されている。
- ・勤労福祉会館が、避難施設及び津波一時避難施設に指定されている。
- ・卸売市場は、地場の魚や野菜などの流通拠点として、兵庫県においても地域拠点市場に位置づけられている。

(2) 改修・更新状況

- ・産業交流センターは、平成 10 年に建築されており、建物は良好であるが、その他の施設は建築後 20 年から 30 年を経過し、劣化が進んでおり、改修が必要になっている。

(3) 利用・運営状況

- ・産業交流センター、勤労福祉会館、サンライフ明石は、設置目的にかかわらず広く市民に利用されているが、一部の貸館スペースの稼働率が低い。
- ・卸売市場は、流通形態や生産構造の変化等により、取扱量・取扱高が減少している。

■取組の方向性

共通の方向性

- ・産業系施設のあり方を検討した上で、基本方針にかかげる原則に基づき、公共施設配置適正化に向けた取組手法を検討する。

個別の方向性

【産業交流センター】

- ・より効果的、効率的な施設運営のため、余裕空間について更なる活用を図る。

【勤労福祉会館・サンライフ明石】

- ・施設の必要性、建物の劣化状況、利用実態等を踏まえ、複合化、集約化も含めて検討する。

【卸売市場】

- ・指定管理者制度等民間活力の活用により、市場の活性化を推進する。

①スポーツ施設

■施設概要

対象施設単位	業務内容	設置数
大蔵海岸施設	明石海峡大橋を間近に望む、面積約 32ha(埋立地約 19ha、海浜約 13ha)の緑豊かな海浜レクリエーションゾーンです。公園・緑地、磯浜、砂浜、駐車場などが整備されています。	1 施設
明石中央体育会館 (石ヶ谷公園)	大小2つの競技場や会議室等の施設を備えた体育会館で、石ヶ谷公園内に設置されています。	1 施設

■配置状況



■現状と課題

(1) 配置状況

- ・市内外の住民のスポーツをはじめ、様々な利用に供する施設として設置されている。
- ・地域防災公園として位置づけられている。

(2) 改修・更新状況

- ・大蔵海岸施設は、平成 10 年に建築された建物であるが、劣化が進んでおり、改修が必要になっている。
- ・明石中央体育会館は、建築後 30 年を経過し、劣化が進んでおり、改修が必要になっている。

(3) 利用・運営状況

- ・大蔵海岸施設及び明石中央体育会館（石ヶ谷公園）では、利用者数は増加している。

■取組の方向性

共通の方向性

- ・長期的な視野に立って施設の整備、補修計画を策定し、施設の長寿命化を図る。
- ・効果的、効率的な施設運営が図られるよう、民間活力の活用を検討する。

②レクリエーション施設・観光施設

■施設概要

対象施設単位	業務内容	設置数
花と緑の学習園 (上ケ池公園)	上ケ池公園(2.6ha)内にあり、管理棟を兼ねたみどりの相談所と見本園を設置しています。園芸講習会や移動園芸教室(出前講座)、展示会や各種イベントを開催し、市民が緑に親しみ、活用できる機会を提供しています。	1 施設
菊花栽培場	市の花である菊の普及と明石公園菊花展覧会の開催のため、菊花栽培場の管理運営や菊花栽培教室の運営を行っています。	1 施設
少年自然の家	宿泊室、研修室、体育館、グラウンドなどを備えており、集団宿泊生活や野外活動を通じて、心身ともに健全な青少年を育成しています。	1 施設

■配置状況



■現状と課題

(1) 配置状況

- ・花と緑の学習園は、市内の緑化拠点施設として設置されており、駅からも近く利便性が高い。
- ・菊花栽培場は、菊花栽培教室や菊花展への出展のための菊栽培を行っている。
- ・少年自然の家は、市内唯一の青少年を対象とした宿泊可能な研修及び活動施設として設置されている。
- ・少年自然の家は避難施設に指定されている。

(2) 改修・更新状況

- ・花と緑の学習園は、平成元年に建築されているが、建物は比較的良好である。
- ・菊花栽培場は、建築後 20 年を経過しており、劣化が進んでいる。
- ・少年自然の家は、建築後 30 年を経過し、劣化が進んでおり、改修が必要になっている。

(3) 利用・運営状況

- ・花と緑の学習園及び少年自然の家については、年間延べ5万人前後が利用している。
- ・少年自然の家は、一部の貸館スペースの稼働率が低い。

■取組の方向性

共通の方向性

- ・レクリエーション施設、観光施設のあり方を検討した上で、基本方針にかかげる原則に基づき、公共施設配置適正化に向けた取組手法を検討する。

個別の方向性

【花と緑の学習園・菊花栽培場】

- ・効果的、効率的な施設運営が図られるよう、民間活力の活用を検討する。

【少年自然の家】

- ・利用促進を図りながら、施設の利用実態等を踏まえ、複合化も含めて検討する。

公園

③公園

■施設概要

対象施設単位	業務内容	設置数
公園 (金ヶ崎公園) (魚住北公園) (明石海浜公園)	市内約 420 カ所ある公園のうち、管理棟が設置されている公園です。	3 施設

■配置状況



■現状と課題

(1) 配置状況

- ・各公園は、市民の憩いの場やスポーツ活動の拠点といった用途で利用されている。
- ・明石海浜公園は、地域防災公園として備蓄倉庫、飲料水兼用耐震性貯水槽が設置されている。

(2) 改修・更新状況

- ・体育館や管理棟等一部の建物で劣化が進んでおり、改修が必要になっている。

(3) 利用・運営状況

- ・魚住北公園や明石海浜公園は、一部の貸館スペースの稼働率が低い。

■取組の方向性

■共通の方向性

- ・効果的、効率的な施設運営のため、民間活力の活用による利用促進への取組みを検討する。

公営住宅

④市営住宅

■施設概要

対象施設単位	業務内容	設置数
市営住宅	市が国の補助金を受けて建設したものであり、住宅に困窮する低所得者を対象とした公営住宅です。	37 施設

■配置状況



1 王子	6 貴崎	11 鷹匠	16 魚住錦が丘	21 東二見宮北	26 西二見	31 西八木	36 貴崎店舗
2 北王子	7 貴崎(木造)	12 大窪	17 魚住南	22 東二見今池	27 鳥羽鉄筋	32 大見鉄筋	37 西朝霧丘 (特公賃)
3 西新町	8 林崎	13 大窪南	18 魚住北	23 上西二見	28 西大窪鉄筋	33 大見	
4 立石	9 藤が丘	14 大久保寺の上	19 東二見駅北	24 西二見小池	29 西大窪	34 大見店舗	
5 貴崎東	10 西朝霧丘	15 魚住清水	20 東二見宮の前	25 東二見	30 西八木鉄筋	35 東本町店舗	

■現状と課題

(1) 配置状況

- ・良好な住環境の確保に向け、市内に37施設が設置されているが、特に市西部に多く設置されている。

(2) 改修・更新状況

- ・計画に基づき建替えを実施する施設もあるが、特に、劣化が著しい施設に対する維持保全への対応が課題となっている。

(3) 利用・運営状況

- ・住宅困窮の理由に家賃が高いことが多く挙げられており、低廉な家賃での住宅提供に高いニーズがある。
- ・老朽化、エレベーター未設置等の住宅の募集倍率は低下傾向にあり、住環境や利便性を重視する傾向が見られる。

■取組の方向性

■共通の方向性

- ・人口推移や建物の劣化状況、民間賃貸住宅の状況などを考慮し、複合化や集約化を検討する。
- ・利用実態等を踏まえ、効果的、効率的な施設運営が図られるよう、民間活力の活用を検討する。

供給処理施設

㊦供給処理施設

■施設概要

対象施設単位	業務内容	設置数
明石クリーンセンター	健全な市民生活の維持と、安全で効率的なごみ処理を推進する目的として、市内から排出されたごみを適正に処理しています。	1 施設
浄化センター	下水を最終的に処理し、河川その他の公共の水域又は海域に放流しています。	4 施設
ポンプ場	汚水を汲み上げ浄化センターに送っています。また、雨水を河川その他の公共の水域又は海域に放流しています。	6 施設

■配置状況



■現状と課題

(1) 配置状況

- ・明石クリーンセンターは、市内唯一の一般廃棄物処理施設として、市内で発生したごみを受け入れている。
- ・下水処理施設として、浄化センターが4施設、ポンプ場が6施設設置されており、平成25年度末で下水処理人口普及率は99.4%となっている。

(2) 改修・更新状況

- ・明石クリーンセンターは、稼働から16年を経過しており、各種設備の更新を年次的に行っている。
- ・浄化センター及びポンプ場については、建築後40年を超える施設もあり、機能停止等が発生しないように、長寿命化対策を含めた計画的、効率的な改修を進めている。

(3) 利用・運営状況

- ・明石クリーンセンターにおける処理量は減少傾向にあり、今後の人口減少の見込みから、適正な処理量の見極めが必要である。
- ・浄化センター及びポンプ場については、近年の下水処理量は横ばいであるが、今後、人口減少が見込まれる中、適正な処理量の見極めが必要である。

■取組の方向性

共通の方向性

- ・長期的な視野に立って施設の整備、補修計画を策定し、施設の長寿命化を図る。
- ・将来の処理量推移、必要な設備等を精査し、集約化や運営体制の見直しも含めた施設のあり方を検討する。

個別の方向性

【浄化センター・ポンプ場】

- ・それぞれを連絡管でつなぐネットワーク化事業により、施設の集約化を図る。

その他施設

⑫その他

■施設概要

対象施設単位	業務内容	設置数
あかし斎場旅立ちの丘	昭和 61 年に火葬炉の他、告別式場などを備えた市営の葬儀施設として設置しました。施設老朽化や火葬需要の増加に対応するために全面建替え工事を行い、平成 21 年 11 月から名称を「あかし斎場旅立ちの丘」に改称、葬祭式場の供用を開始し、平成 25 年度から火葬場の全面供用を開始しています。	1 施設
明石駅前立体駐車場	自動車利用者の利便性向上や道路交通の円滑化を図り、都市機能の維持及び増進を進めています。	1 施設
明石駅自転車駐車場	自転車等の利用者の利便性向上や、自転車等の放置防止を進めています。(財)自転車駐車場整備センターにより管理運営を行っています。	1 施設
石ヶ谷墓園	市が運営する墓園です。平成 24 年 3 月現在で 10,298 区画の供給を行っています。	1 施設

■配置状況



■現状と課題

(1) 配置状況

- ・あかし斎場旅立ちの丘は同一敷地内に葬祭式場と火葬場を備えている。近年、小規模な葬儀を希望される方が増えている。
- ・明石駅前立体駐車場、明石駅自転車駐車場は、通勤通学者や観光客などに利用されている。
- ・石ヶ谷墓園については、公営の墓園として設置されており、最近、合葬式墓地の需要が高まっている。

(2) 改修・更新状況

- ・あかし斎場旅立ちの丘は、平成 21 年度に葬祭式場を新築、平成 25 年度には火葬場の全面供用を開始した。
- ・明石駅前立体駐車場は、建築後 20 年以上を経過し、劣化が進んでおり、改修が必要になっている。
- ・明石駅自転車駐車場は、平成 24 年度に全面リニューアルされている。
- ・石ヶ谷墓園は、建築後 30 年を経過し、劣化が進んでいる。

(3) 利用・運営状況

- ・あかし斎場旅立ちの丘葬祭式場は建替え後、利用件数が増加し、その後、一定水準を保って推移している。火葬場は亡くなられた市民の 9 割以上の方が利用している。
- ・明石駅前立体駐車場は、指定管理者により運営されており、平成 24 年度のインセンティブ制度導入後、利用台数増加により利用料金収入は増加している。
- ・明石駅自転車駐車場については、公益財団法人で管理運営しており、修繕等も同法人で対応している。
- ・石ヶ谷墓園については、老朽化に伴う維持管理費の増加や歳入不足により、赤字が懸念されており、繰越金が枯渇する可能性がある。

■取組の方向性

共通の方向性

- ・対象とする施設のあり方を検討した上で、基本方針にかかげる原則に基づき、公共施設配置適正化に向けた取組手法を検討する。

個別の方向性

【あかし斎場旅立ちの丘】

- ・効果的、効率的な施設運営が図られるよう、民間活力の活用を含めた運営体制を検討する。

【明石駅前立体駐車場・明石駅自転車駐車場】

- ・長期的な視野に立って施設の整備、補修計画を策定し、施設の長寿命化を図る。

【石ヶ谷墓園】

- ・効果的、効率的な施設運営が図られるよう、適切な環境整備と維持管理を進める。

㊦ 上水道施設

■ 施設概要

対象施設単位	業務内容	設置数
浄水場	河川、貯水池、深井戸などから取水した水道水のもとになる原水を、沈殿池やろ過池などによって浄水処理し、国が定めた水質基準に適合した安全な水道水をつくることを目的としています。	3 施設
配水場	浄水場でつくった水道水を一時的に貯めておくところで、浄水場などで事故が起こってもすぐに断水しないよう、また、水道使用量の変動を吸収するなど、水道水の安定した供給を行っています。また、災害時には応急給水の拠点にもなります。	3 施設
水道サービスセンター	明石川浄水場敷地内に併設しており、漏水修繕や水道配管工事の監督業務を行うため、水道部技能員を配置しています。緊急漏水修繕の24時間窓口の機能も有しています。	1 施設

■ 配置状況



■現状と課題

(1) 配置状況

- ・上水道施設として、浄水場と配水場がそれぞれ3施設設置されている。
- ・水需要の低下を受けて配水量は減少しており、必要な設備等の精査が必要である。

(2) 改修・更新状況

- ・建築後 50 年あるいは 80 年を超える施設もあり、老朽化も進んでいるが、長寿命化対策を含めた計画的な改修を進めている。

(3) 利用・運営状況

- ・節水意識の浸透等による水需要の低下を受けて配水量は減少している。今後、さらなる節水意識の向上や人口減少から、配水量はさらに減少していくものと見込まれる。

■取組の方向性

共通の方向性

- ・長期的な視野に立って施設の整備、補修計画を策定し、施設の長寿命化を図る。
- ・将来の配水量推移、必要な設備等を精査し、集約化や運営体制の見直しも含めた施設のあり方を検討する。